



夏学タイムズ 2019.2

NPO法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト (GSTEM-CCP)

国立女性教育会館

〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地

TEL: 0493-62-6724・6725

FAX: 0493-62-6720

ナツ
ガク<https://natsugaku.jp><https://www.facebook.com/natsugakuofficial>https://twitter.com/natsugaku_offhttps://www.instagram.com/natsugaku_official/女子中高生
夏の学校
2018

～科学・技術・人との出会い～

夏学には、たくさんの“出会い”が詰まっています。

夏学は、知らなかった科学のことや技術のことについて学ぶことはもちろん、全国の理系を志す人や先輩後輩、科学をお仕事としている大人に出会えます。そして実際にお話をして、その人の考え方に触れることができます。3日間、いろいろな人、様々な科学に出会い、たくさん刺激を受けました。自分の夢や進路についてたくさん考えました。そして、みんなの将来について発表しあいましたね。同年代のみんなの考えやお話を聞いて、どんなことを思いましたか？夏学が、自分の将来を思い描くきっかけになっていれば嬉しいです。

夏学で皆さんが考えたこと、感じたことや自分の夢を是非、まわりのみんなにもお話してみてください。遠くない将来に、リケジョとして活躍する皆さんの姿が見られることを楽しみにしています！

2018夏学学生企画委員長

慶應義塾大学 学部4年 小暮純子



人生の舵は自分で切ろう



サイエンスアンバサダー任命式

全員がサイエンスアンバサダーに！
科学の魅力をどんどん発信していこう！



表彰式

グループ賞や、協賛グッズをたくさんもらいました♪



キャリアプランニングポスター発表会

友達のキャリアプランを聞いて、
学校や塾で学ぶことはまた別の刺激がありました。

Gateway

各分野の先輩に、
どんどん進路相談をしよう！



実験・実習 サイエンス アドベンチャー I

ミニ科学者になろう！



ポスター展示・キャリア相談 サイエンスアドベンチャー II

多種多様な科学技術の魅力に触れました。



交流会

みんなで食べると
美味しいね♪
普段では出会えないような
友達もできました。



キャリアプランニング

〇〇年後の自分は何をしているかな？
タイムラインを作ろう！

キャリア講演

女性研究者、技術者の
理系キャリアをたどろう！



サイエンスバトル

力を合わせてゲームをクリア！
班メンバーとの親交を深めました。



リケ情熱大陸

先輩のタイムラインを
書いてみました。

1日目

開校式

これから3日間、
よろしくね♪

2日目



3日間ありがとう！また会おうね♪



GSTEM-CCP パンフレットは
こちらからご覧ください。
http://natsugaku.jp/download/npo_pamphlet/

女子中高生夏の学校
2018 実行委員長
NPO法人 代表理事
山本 文子
(日本物理学会/
芝浦工業大学)

を目標としています。今後は
埼玉での8月の夏学だけ
でなく、全国各地でのミニ
夏学やイベントを積極的
に企画していきます。皆さ
んも是非これらの活動に
参加して、新しい出会いを
きっかけに自らの可能性を
より一層広げて下さいね。

「NPO法人女子中高生
理工系キャリアパスプロジ
ェクト
(GSTEM・CCP)」
を立ち上げました。

GSTEM・CCP
は、地域や年齢そして立
場を超えて女子理工系の
キャリアパスを共に考え、
交流していける場の構築

2018年の夏学は
「人生の舵は自分で切ろ
う」をテーマに、多くの仲
間や先輩、社会で活動す
る女性たちと出会いまし
たね。その出会いは、皆さ
んの将来の選択肢を大い
に広げてくれたことでし
ょう。私たちはこの度、ど
んどんと広がっていく理工
系キャリアの出会いをサ
ポートするために、また、
夏学に参加した中高生
が、将来、大学生や社会人
参加者として夏学に戻っ
てこられるようにするた
めに、

夏学は続くよ、
いつまでも

夏学2018参加者の声

キャリア講演

・楽しい人生は、自分で楽しんでるからそうだったって分かった。
 ・正直、自分の今の将来の夢は莫大で、それをこなしながらだと家庭を持つことは諦めなければならないかと思っていた。しかし、お話を聞いて何か方法はあるのではないかと思います、とても嬉しかった。
 ・「もし社会の道が邪魔だったら自分で提案すれば良い」という言葉が印象に残りました。わたしも、将来生きづらいなあと思うことがあったら自ら行動して生きやすい人生にしたいです。

表彰式

・全部の班の人たちがきらきらした顔で本当に充実してたんだと思いました。
 ・やりきった満足感・達成感と、終わってしまうことへの喪失感が入り混じっていた。
 ・TAの先輩が決めた賞の名前に愛がこもってた

全体の感想

・やりたいことは一本道ではなくて、いろいろないきかたがあるのだと思った

リケ情熱大陸

・班の子と話し合ってたのが楽しかったです。自分の考えないようなことに気づいてるのが凄いなと思いました。
 ・タイムラインを作ったことで、その人がどんな人生を歩んだのかよく分かりました。

Gate Way

・今までモヤモヤしていた部分を全て解決できた。あとは自分次第。
 ・相談したときに、心が軽くなるような言葉をかけていただいて嬉しかった。
 ・密かに思っていた野望?を口に出して相談したら、実現するイメージができました。

・具体的な進路が決まった! ずっとここにいたいこんなに楽しいと感じたのは初めて!!

・自分の分野の話になると皆さん目を輝かせて話されていて、私もこうやって夢中になれることを見つけて職業に繋がれたらと思いました。

サイエンスバトル

・みんなと非常に楽しんでできたことがとても良かった。他のお友達の尊敬する部分がたくさん見つかった。
 ・難しい問題がたくさんあったけど、これがきっかけで班の人とちゃんと喋れるようになったと思う。

キャリアプランニング

・自分の夢を少しずつ理解することができて良かった。
 ・将来の夢は考えたことあったけど、計画表みたいなのはなかったので新鮮だった。
 ・皆それぞれの進みたい道からしっかり逆算して考えていたり、自分とは違った道を見ている子の話は何を聞いても楽しかったし、正直言うと時間が足りないくらいでした!! 全員分見たいと思うくらい良い体験でした。

・いろんな地域から来てる人が集まっているから話すのが楽しかった。進路に迷っていたけど、明確にできた。自分の見ている世界は狭かったと思った。

・自分が心の中で密かに諦めていたことが実現できるかも知れないっていうことがわかって本当に良かったです。

サイエンスアドベンチャー

・世界は色々なジャンルで溢れてるとわかり感動した。
 ・理系の農学部や理学部などの区切られた中にもたくさんの分野があって、「～になりたいから理系に進む」という明確な理由がなくてもその分野から色々な職業に繋がっているから、自分のやりたい事をやるべきだなと強く感じた。
 ・本で読んだことの内容を直接聞くことができたのがとても良かった。

キャリアプランニングポスター発表

・自分のことを相手に伝えることの難しさを実感して、もっと伝えたいと思いました。
 ・自分だけでなく他の人の夢も知ることができ、一緒に頑張る仲間がいることを実感できた。
 ・様々な先生方に多方面からアドバイスをもらえて、また、お友達に応援してもらい励みになった。

・将来の夢はあったけど、夏学を通して、今決めるのはもったいないと感じた。これからは科学について知ることが大切だと思う。
 ・来年はTAとして参加したいです。

夏学での体験を地元で発信、サイエンスアンバサダー!

・Kさん(高2)

私は普段班長などをやるタイプじゃなかったのですが、夏学で班長をやれて初めてあった人とも親睦を深められたことが自信になった。そして、その親睦は今でもSNSで繋がっている。絶滅危惧種の動物を救うためには、たくさんの仕事の種類があることを知れた。自分のやりたいことが動物関連だけれど動物の研究ではないことに気付けた。夏学に行ったことで将来の夢が具体的に変わった。また、勉強の仕方も多く学べた。

・Sさん(高1)

夏学に行ったことで理系に進みたいという希望が強くなり、苦手な数学を頑張っていこうと思ったことや、コミュニケーション力の大切さを学んだこと、理系に全然知らない職業がまだまだあって可能性を感じたことなどを力説しました。(自然に力が入っちゃいました) 秋田に帰ってすぐ、夏休みの数学の宿題でわからなかったところを、先生に付き合ってもらい解決しました。これも夏学で数学が苦手だからといって夢や希望を諦める理由にはならないと感じ、気持ちが変わったことから来ていると思います。

・Wさん(中3)

高校受験に向けて、進路に悩んでいたけれど、夏学に参加したことで理系のイメージをある程度固めることができたこと、色々な仲間と出会えて刺激になったことを、私の言葉で精一杯伝えました。

次年度に向けたご案内 夏学新時代

現代社会は「境界なき社会」と言われて久しく、過去の成功例や常識が必ずしも通用しない時代にもなって来ています。こうした社会背景の中で、AI などにはできない批判的思考や幅広い視野に基づいた思考ができる人材の必要性が、ますます高まっていることにもはや疑いの余地はありません。このような時代に生きていかなければならない女子中高生のみなさんにとってこそ、夏学が提供する様々な体験や仲間との出会いは、既成概念にとらわれずに、将来においても常に新しい発想を生み出し続けるための源泉になるのではないかと思います。来る新時代に対応するため、これまで14年続いてきた夏学自身も昨年から大きく変化しました。みなさんも一緒に自分自身の新時代を切り開きましょう!

女子中高生夏の学校 2019 実行委員長 植松崇之 (日本分子生物学会/北里大学)

2019年夏学予定
August

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31